



## Press Release

For immediate release – 2021年3月27日

# WWFジャパン、サンゴ礁保護研究センターを白保公民館に譲渡 地域主体のサンゴ礁文化・生態系の保全の拠点へ！

- WWFジャパンの所有するサンゴ礁保護研究センター(通称：しらほサンゴ村)を地元自治組織の白保公民館へ譲渡。4月より正式に白保公民館の所有となる。
- 今後、白保のサンゴ礁文化・生態系の保全は、公民館やNPO夏花などの地域の主体が中心となって実施していく。
- WWFジャパンは施設譲渡後も現地での活動の継続を支援するため、今後も複数年にわたり白保での活動を継続する予定。

公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン（東京都港区 会長：末吉竹二郎 以下、WWFジャパン）は、このたび沖縄県石垣市白保地区に所有する、WWFサンゴ礁保護研究センター（通称「しらほサンゴ村」、沖縄県石垣市字白保118）を、地元自治組織の白保公民館に譲渡することにいたしました。本日、譲渡式を石垣市白保地区にて行ない、同年4月からの所有者は正式に白保公民館となります。

今年4月に「しらほサンゴ村」設立から21年目を迎えるにあたり、より一層、地域の方々が中心となったサンゴ礁の保全活動が長期にわたり継続されることを目指します。今後は、公民館やNPO夏花などの地域の主体が中心となって、白保のサンゴ礁文化・生態系の保全が展開されることとなります。

また、WWFジャパンは施設譲渡後も現地での活動の継続を支援するため、今後も複数年にわたり白保での活動を継続する予定です。そして「しらほサンゴ村」が、白保公民館や夏花をはじめとする地域住民の方々の交流やサンゴ礁保全活動の拠点として、よりよい形で活用いただけるよう、協力を続けてゆきます。

「しらほサンゴ村」は、1970年代に世界有数の豊かさを誇る白保のサンゴ礁を埋め立てる形で計画された、新石垣空港の建設問題を契機に、サンゴ礁生態系の保全に取り組む活動の拠点として、日本中の多くの方々から寄せられた募金・寄付金により、2000年に白保に建設されました。

その後、WWFジャパンは「しらほサンゴ村」を中心に、白保をはじめとした南西諸島各地のサンゴ礁や陸域生態系を保全する活動を展開。特に白保においては、サンゴ礁の調査活動や、サンゴ礁を脅かす赤土の流出防止対策とその影響把握のための長期的なモニタリング調査、そして白保小学校、中学校とのサンゴ学習やシュノーケル観察会といった活動を行なってきました。





また、地域が主体となったサンゴ礁保全の取り組みを促進するべく、地域住民や関係機関とともに、「白保魚湧く海保全協議会」を立ち上げ、伝統的な漁具「海垣」の復元、「世界海垣サミット」の開催といった、豊かなサンゴ礁生態系と文化の保全を目指す取り組みも、支援・展開させていただきました。

2013年には、「白保村ゆらていく憲章」に基づき、白保集落の伝統文化や自然環境の保全に取り組む、地元のNPO法人「夏花（なつばな）」が発足。その後は、調査をはじめとするWWFがそれまで実施してきたさまざまな活動を、段階的に引継いできました。

そして、より地域が中心となったサンゴ礁の保全を進めていくための検討を重ね、本活動を地域に移譲できる準備が整ったと判断し、WWFジャパン理事会の承認のもと、このたび「しらほサンゴ村」の施設を白保公民館に贈与することを決定いたしました。

こうした地域への活動の移譲は、「しらほサンゴ村」の活動の中で長年目指してきたことであり、WWFが世界各地の保全の現場で志向している活動の在り方にも一致するものです。

「しらほサンゴ村」の設立から20年。今回の施設の移譲によってそれが実現したことで、新たな保全活動の一步が踏み出されたことを示すものです。

#### 【今後のスケジュール（2021年内、予定）】

- 3月末 : しらほサンゴ村（土地と建物）を白保公民館に無償譲渡
- 6月末 : しらほサンゴ村、一般向け公開終了（白保日曜市は継続開催予定）
- 12月～ : しらほサンゴ村の運営がWWFから白保公民館に完全移譲  
: WWFスタッフは東京から通いで白保のプロジェクトに従事

#### ■ WWFについて

1961年にスイスで設立された地球環境保全団体です。人と自然が調和して生きられる未来を築くため、現在100カ国以上で、希少な野生生物の保護や、森や海などの自然環境の保全、自然資源の持続可能な利用、地球温暖化の防止などを目指したプロジェクトを展開しています。 <https://www.wwf.or.jp/>

#### ■ WWFサンゴ礁保護研究センター（通称「しらほサンゴ村」）について

「しらほサンゴ村」は、世界有数の豊かさを誇る白保のサンゴ礁保全のため、2000年（平成12年）に開設した施設です。設立以来、サンゴ礁に関する調査活動のみならず、白保小学校、中学校とのサンゴ学習やシュノーケル観察会、白保地域の皆様による「白保魚湧く海保全協議会」の立ち上げ、赤土の流出防止対策とその影響把握のための長期的なモニタリング調査、「白保日曜市」の開催、伝統的な漁具「海垣」の復元、世界海垣サミットの開催を代表とした地域の暮らしや文化とサンゴ礁の繋がりを考える企画など、豊かなサンゴ礁生態系と文化の保全のための活動をお手伝いし、また時に地域の皆様と一緒に実施してきました。

WWFジャパン プレスリリース一覧 <https://www.wwf.or.jp/press/>